

こんにちは
1月号

酒井まさえ



2022年1月12日 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111 (2319) FAX 3312-2610 **です**
sakimasa.0507@gmail.com 090-9325-5676

2022年 政治が変われば守れる命がある 命・くらし優先、区民が主人公の区政めざして全力で！



1月6日 新年最初の都議・区議団の宣伝



8月24日学校観戦の中止を求める宣伝



11月28日つどい（区政報告会）

新春のつどいのお知らせ

後援会のみさんから、「コロナ禍でも感染対策を取って集まりたい。会食はなしでも集まりたい」との要望により行うことにしました。

明日の活力になれば幸いです。

2月20日(日)

北部地域 AM10時～12時

場所 松ノ木2丁目第3アパート集会室

南部地域 PM1時～2時45分

場所 永福和泉地域区民センター第3集会室

連絡先 090-9325-5676（酒井）



今年もよろしくお願ひします。

感染しても入院や入所できない自宅療養者が、杉並でも1000人を超える状況となり、尊い命を救えない事態が起りました。このようなことを二度と繰り返してはならないと、党区議団は繰り返し改善を求めました。

今年、参議院選挙、杉並区長選挙が行われます。区民の命・くらし最優先の区政へ、市民と野党の共同により、区民が主人公の区政をめざして、みなさんと共に頑張つてまいります。今年もよろしくお願ひします。

昨年夏には、国民の8割が開催に不安や反対を示していたオリンピック・パラリンピックが開催され、感染爆発を起しました。

衆議院選挙では、市民と野党の統一候補の吉田はるみさんを国会に送るため、党区議団も奮闘し、みなさんと力を合わせ勝利を勝ち取ることが出来ました。

今年もコロナ禍のもとで年明けました。年末からのオミクロン株の感染が急拡大し、第6波に入りました。杉並区においても、感染者が1月7日には73人となりました。

区政報告会を9回開催し、ニュースの発行などで、区政の問題を積極的に区民に知らせてきました。

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

また、感染から子どもたちを守るため、パラリンピック学校観戦の中止を区に求め、宣伝も行いました。

「気候危機打開のための杉並区計画改定に向けた提言」を杉並区に提案しました。



1月11日区に提案する区議団

気温上昇を1.5度以内に抑えるために、全世界で2050年までに実質カーボンゼロを目標としましたが、目標達成のためには2030年までに二酸化炭素・CO2を半減できるかどうかが決定的であり、ここに人類の未来がかかっています。

杉並区に保険料の引き上げの中止を求める申し入れ



1月7日 区に申し入れをする区議団

1月7日、党区議団は、杉並区に、国保料・後期高齢者医療制度に関する緊急申し入れを行いました。

東京都は、昨年11月29日開催の東京都国民健康保険運営協議会において、国の仮係数に基づいた2022年度の国保料が国保加入者1人あたり17万2155円、今年度の15万7351円と比べて1万4804円（1・094倍）の大幅値上げになるとの試算を示しました。今回の国の仮係数による1人あたりの保険料額の値上げ幅は、国保制度を都道府県単位化して以来、最大の値上げ幅となっています。

一方、新型コロナウイルスの感染による暮らしや経済への影響は大きく、区民は厳しい暮らしを余儀なくされています。そのうえ、食料品をはじめ生活に直結する物価の上昇が区民生活を直撃しています。こうしたときに、国保料の大幅値上げを行えば、区民生活を圧迫することは明らかです。

国保料へ要望

- 1、杉並区として、2022年度の国保料が引き上げとされないよう予算措置を行うこと。法定外繰入を縮小・削減することなく維持・継続すること。
- 2、今後の区長会においても、都道府県単位化導入の際の法定外繰入を6年間でなくすとした計画の見直し、国、都に財政負担の拡充を求める申し入れなど、あらゆる手立てを尽し、国保料が引きあがらないよう強く求めること。
- 3、杉並区として、国や東京都に対し、2022年度の国保料が引きあがらないよう財政支出の拡充を求めること。
- 4、杉並区として、国や東京都に対し、減免や納付免除等のとりくみをさらに充実するよう求めること。
- 5、2022年度から始まる就学前までの子どもたちの保険料額2分の1減額について、すべての子どもを対象を広げること、国と東京都に求めること、合わせて、杉並区独自の対象拡大を検討すること。



1月7日 副区長と意見交換

また、来年度実施予定の、後期高齢者の医療費窓口2割負担を中止するよう、国に求めることも要望しました。

とりわけ、国民健康保険加入者である自営業や非正規雇用の人たちへの影響は深刻であり、国保料負担が暮らしを追い詰める結果になりかねません。

杉並区が、区民の暮らしと営業を守るためにも、2022年度の国保料、後期高齢者医療保険料を引きあがらないよう、緊急に要望しました。

子育て世帯への臨時特別給付金

10万円を現金で一括支給



12月20日に臨時議会が招集され、子育て世帯への臨時特別給付金について、先行給付金（5万円）と合わせて、クーポン相当分（5万円）を現金で一括で支給するための補正予算（第13号）が区から提案されました。

党区議団には、保護者や区民から「給付は年内に現金でして欲しい」「クーポンで支給すれば膨大な事務費がかかり、税金の無駄遣い」という意見や要望が寄せられていました。今回の議案は、こうした区民意見に沿うものとして、党区議団も賛成しました

（1月には、非課税世帯、コロナの影響で生活が困窮している世帯への臨時特別給付金の支援が、臨時議会にて審議予定です）

健康の話 お肉のパワー

年末年始は、いかがお過ごしでしたか？
 コロナのオミクロン株の感染が心配で、自宅にいらした方が多かったのではないのでしょうか。1月6日よりコロナ感染の第6波に突入しました。引き続きコロナ感染対策を重視していきましょう。

今回は、元氣の出るお肉のことをお話します。カロリーは気になりますが、上手に食べたいですね。お肉には、牛、豚、鶏、羊があります。それぞれどんな特徴があるか上げてみます。

① **牛肉** 鉄や亜鉛が豊富で貧血予防にもなります。

② **豚肉** ビタミンBが豊富で、糖質やアルコールの代謝に活躍します。

③ **鶏肉** 牛肉や豚肉に比べて脂質が少なく、低カロリーです。疲労回復に効果的とされるイミダペプチドもむね肉に多く含まれます。

④ **羊肉** 脂質の代謝を助けるビタミンB群が豊富です。

肉の成分は、部位によっても大きく変わり、脂肪の多い所には注意をし、上手にたんぱく質等をとることをお勧めします。

お困りのことがありましたら、
 酒井にご相談ください。

